

事項	開花20日前頃にひょう害を受けたぶどう「スチューベン」の新梢管理		
ねらい	平成20年5月26日（開花20日前頃）の降ひょうにより、鶴田町等の「スチューベン」で新梢の折損や葉の損傷被害が見られた。被害を受けた新梢の生育及び果実品質を調査し、収量と品質を確保するための新梢の管理方法を明らかにしたので、指導上の参考に供する。		
指導内容	<p>1 新梢が4葉又は5葉で折損した場合（花穂を残して折損した場合）</p> <p>（1）開花1週間前頃に、最上位の副梢をそのままにして、その他の副梢を摘除する。なお、葉が欠落している場合、欠落部位の副梢の葉を1枚残す。</p> <p>（2）満開1週間後頃に、第1花穂の上5葉で摘心し、副々梢は全て摘除する。</p> <p>2 新梢に折損がない場合（葉の損傷のみの場合）</p> <p>（1）葉が欠落していない場合 通常どおり管理する。</p> <p>（2）葉が欠落している場合 欠落部位の副梢の葉を1枚残して管理する。</p> <p>3 生育及び果実品質 新梢管理以外は通常の栽培管理を行うことで、新梢長及び葉数を確保できる。花穂に被害を受けている場合、収穫時には果房が小さく粒数も少ないが、着色、糖度、酸度は通常に管理した果房とほぼ同等である。</p>		
期待される効果	降ひょうにより新梢が折損した時や葉が欠落した時に、新梢の管理作業を進める上での参考にできる。		
利用上の注意事項			
担当部署 (担当者名)	青森県西北地域県民局地域農林水産部普及指導室 (杉田誠一、前田亨) 青森県農林総合研究センターりんご試験場 栽培部 (菊池一郎)	対象地域	県下全域
発表文献等	平成20年度普及指導員調査研究成績検討会		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 新梢長と葉数の経過

(平成20年 西北普及指導室)

区	降雹7日後 6/3		開花期 6/18		降雹1か後 6/26		着色期 8/26	
	新梢長	葉数	新梢長	葉数	新梢長	葉数	新梢長	葉数
枝折損区	24.4	4.2	47.4	7.2	75.2	9.0	139.6	17.6
葉損傷区A	40.4	7.8	55.4	9.4	58.4	9.4	119.2	18.2
葉損傷区B	42.9	8.4	55.4	9.6	58.4	12.2	162.0	18.2
対照区	42.2	8.6	59.6	9.4	63.8	9.6	128.4	17.0

(注) 鶴田町、「スチューベン」、露地、垣根仕立て

- 1 調査新梢数：5本/区
- 2 新梢管理法

枝折損区：開花1週間前頃；最上位の副梢はそのままでその他の副梢は摘除、満開1週間後頃；第1花穂の上5葉で摘心、副々梢は全摘除

葉損傷区：葉の欠落が無い場合；通常管理

葉が欠落している場合；開花1週間前頃に欠落部位の副梢の葉を1枚残した

A；満開1週間後頃に副梢、副々梢は全摘除

B；最上副梢を残し、他は摘除

表3 果実品質

(平成20年 青森農林総研りんご試)

区	果房重 (g)	カラーチャート 値	1粒重 (g)	粒数	糖度 (%)	酸度 (g/100ml)	着粒密度 (粒/cm)
枝折損区	156	11.0	3.5	41.7	19.2	0.60	3.9
葉損傷区A	187	11.0	3.5	51.1	18.4	0.58	5.1
葉損傷区B	183	10.9	3.5	50.2	18.6	0.61	4.4
対照区	242	10.8	3.2	71.6	18.2	0.62	6.1

(注) 調査数：7果房/区 ぶどう用カラーチャート使用 (0：緑～12：黒)



写真1 枝折損区 (5月27日)



写真2 葉損傷区 (5月27日)